

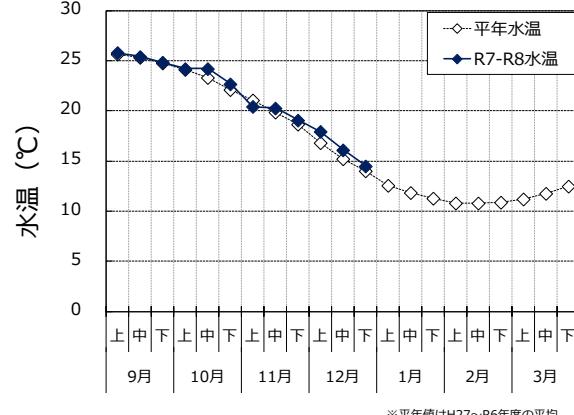
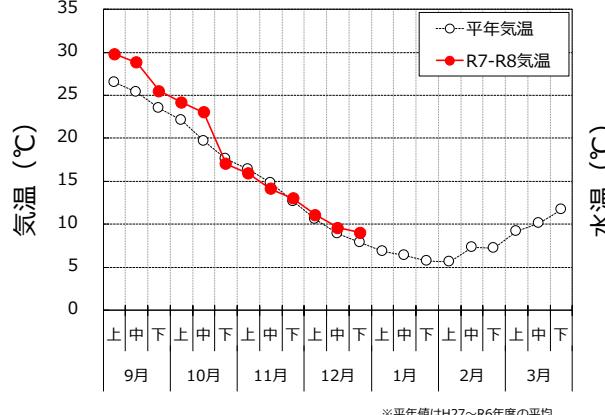
## 藻類養殖情報（令和8年1月号）

令和8年1月15日発行  
 (地独) 大阪府立環境農林水産総合研究所  
 水産技術センター

### ○漁場環境

- ・気温（谷川）：12月上旬から中旬にかけては平年より0.6~0.7°C程度、下旬には1.2°C程度高めになりました。
- ・水温（谷川）：12月上旬から中旬にかけては平年より0.9~1.1°C程度、下旬には0.5°C程度高めとなりました。

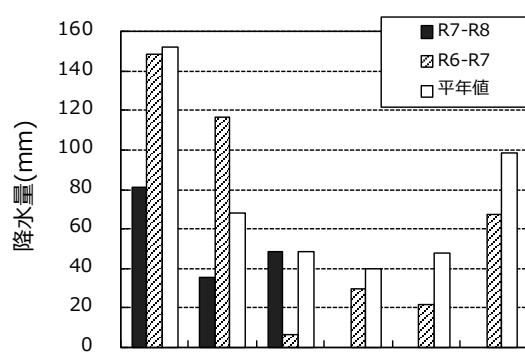
下記の水産技術センターホームページで谷川地先の水温情報を毎日更新し、1週間先までの水温の推移を予測しておりますのでご利用下さい。URL：<https://www.knsk-osaka.jp/suisan/gijutsu/suion/index.html>



旬別気温・水温の推移（谷川地先9時）（平年値はH27～R6年度の平均）

- ・降水量（谷川）：12月の降水量は48.5 mmとなり、平年と同程度となりました。12月上旬にはほとんど雨は降りませんでしたが、中旬から下旬にかけまとまった降雨がありました。
- ・今後の気温降水量予測（気象庁季節予報）  
 1月10日～2月9日の予報期間中について、天気は平年に比べ晴れの日が多く、降水量も少ない見込みと予報されています。また、寒気の影響を受けにくいため、向こう1か月の気温は平年並みか高いと予報されています。

URL：<https://www.jma.go.jp/bosai/season/>



降水量（谷川地先）  
 (平均値はH27～R6年度の平均)

## ○漁場水質調査結果（1月4日採水）

- ・塩分：塩分は 31.38~32.59 でした。
- ・リン：各地区のリン濃度は  $0.29\text{~}0.80 \mu\text{mol/l}$  でした。  
ワカメ養殖：いずれの地区においても十分な濃度があります。  
ノリ養殖：西鳥取地区ではノリの色落ち警戒濃度を下回りました。
- ・窒素：各地区の窒素濃度は  $4.79\text{~}11.54 \mu\text{mol/l}$  でした。  
ワカメ養殖：いずれの地区においても十分な濃度となっています。  
ノリ養殖：西鳥取地区ではノリの色落ち警戒濃度を下回りました。

	ワカメ	ノリ
リン ( $\mu\text{mol/l}$ )	0.1	0.5
窒素 ( $\mu\text{mol/l}$ )	2	10

藻類色落ち警戒栄養塩濃度  
(この数値を下回ると色落ちの可能性あり)

※青字はノリの色落ち警戒濃度以下、赤字はワカメの色落ち警戒濃度以下

漁場	田尻	岡田浦	尾崎 <sup>*1</sup>	西鳥取 <sup>*1</sup>	下莊	淡輪 <sup>*2</sup>	谷川
塩分 (psu)	31.68	31.74	31.38	32.05	32.11	32.00	32.59
リン ( $\mu\text{mol/l}$ )	0.40	0.40	0.80	0.29	0.41	0.59	0.47
窒素 ( $\mu\text{mol/l}$ )	10.98	9.49	11.54	4.79	7.38	6.97	5.36

\*1 尾崎・西鳥取地区にノリ漁場があります

\*2 淡輪地区は海洋センター前で採水しています

## ○赤潮発生状況

1月6・7日の海洋観測では湾奥部に珪藻による赤潮の発生が確認されています。また、西鳥取地区では小型の珪藻が多く観察され、今後、栄養塩の低下を引き起こす可能性があります。最近の大坂湾内の赤潮発生状況については下記の水産技術センターホームページに掲載しておりますのでご参照下さい（冬季は2週間に1回更新）。

URL : <https://www.knsk-osaka.jp/suisan/gijutsu/akashio/akashio/sokuho.html>



## ○養殖状況（1月4日）

ノリ：藻体の伸長を待っている状況です。藻体が伸び次第、板海苔の生産が始まられる予定です。

ワカメ：各地区とも本養殖が行われています。一部地区では植食魚による食害があり、生長が停滞しています。谷川地区では1月中旬の本養殖の開始にむけ種糸の育苗を行っています。

## ○病害異常

ノリ：一部で生長不良が生じています。藻体の状態を確認し、天気予報に注意しながら摘採スケジュールを検討してください。

ワカメ：養殖開始後のワカメは、泥汚れによる生長不良が生じやすい時期になります。定期的に葉体を観察するよう心がけてください。

※ノリ・ワカメの異常が疑われる際には、水産技術センターへ葉体を持参して頂ければ、隨時検査します。